

# 四十一 成人式祭文

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天

理教 分教会長

慎んで申し上げます

親神様の深く温かい親心に生かされ守られ お陰様で

は二十年の歳月を送り迎え 今年芽出度く成人式を迎

えさせて頂きました。厚く御礼申し上げます

茲に改めて『身はかりもの 心一つが我がのもの』と仰せ下

されたお言葉を味わい親神様の大恩を忘れず 常に『ひな

がたの道』を身近に拝し 手塩にかけて下された両親を始

め先輩の皆様方に充分安心して頂けるよう ひたすら心の

ふしんにつとめたいと決意いたしております

ここに一人前の大人として社会の荒波に船出したとは云え

人生の嵐は時として強く それに引き替え船の舵を取る

手は弱く その為に幾度か苦難の節が訪れてくることと思ひ

ますが その都度 正しい羅針盤を見つめ直して持場立場

を通し勇んで前進させて頂きますから 親神様にはこれから

後も 先になり後になって御慈悲深くお連れ通り下され

陽氣遊山の世界づくりに充分役立ちますようお導きの程を

慎んで御願ひ申し上げます